

第9節 水生生物（淡水魚類）

第1項 調査概要

評価書の調査地点のうち、最終処分場計画地内を流れる天白川下流2地点（河川水調査地点と同地点）において、淡水魚類生息確認状況を把握するため調査を実施した。

1 - 1 調査年月日及び調査内容

調査年月日及び調査内容は、表9 - 1 に示したとおりである。

表9 - 1 調査年月日及び調査内容

調査時季	調査年月日	調査内容
春 季	平成 15 年 5 月 22 日	捕獲調査、目視観察調査、 任意調査
夏 季	平成 15 年 8 月 29 日	
秋 季	平成 15 年 11 月 28 日	
冬 季	平成 16 年 2 月 18 日	

1 - 2 調査地点

調査は、図9 - 1 に示した2地点（評価書の調査地点P.1、P.2）で実施した。

1 - 3 調査方法

1 - 3 - 1 捕獲調査

調査地点にカゴ網、セルビン各2個を設置して採集し、生息種の捕獲・確認を行った。
カゴ網、セルビンは1時間設置し、餌として市販の練餌及びサナギ粉を用いた。

1 - 3 - 2 目視観察調査

岸边や橋上から目視により観察を行い、生息種の確認を行った。

1 - 3 - 3 任意調査

上記の調査方法に加えて、調査地点周辺を、タモ網を用いて任意に採集し生息種の確認をする任意調査も実施した。

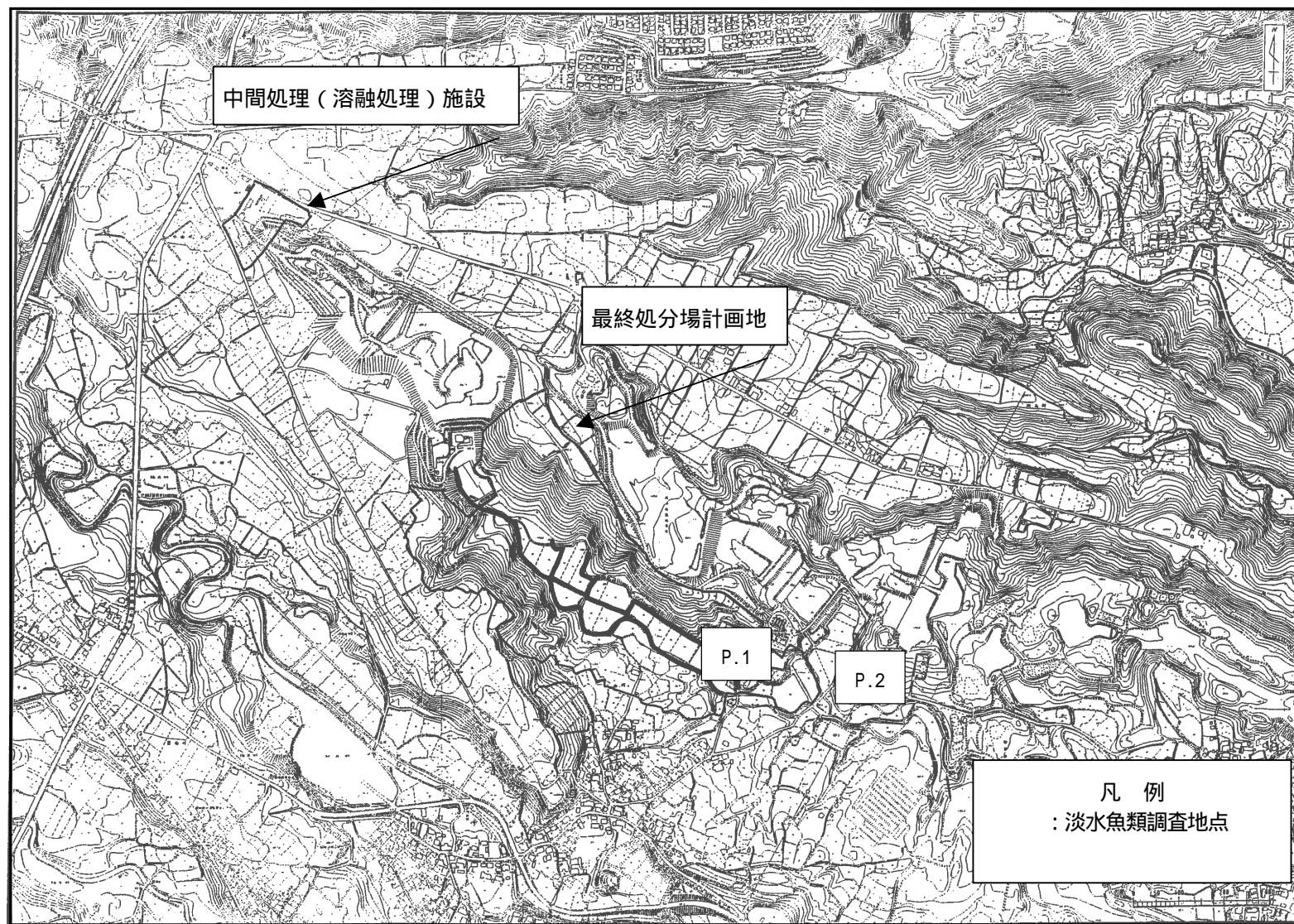


図 9 - 1 水生生物(淡水魚類)調査地点

第2項 調査結果

2 - 1 捕獲調査結果

カゴ網、セルビン、タモ網による捕獲調査により、表9 - 2 に示したとおりカワムツ、タモロコ、カワヨシノボリ、オイカワの4種の淡水魚類を確認した。

カゴ網による捕獲では、春季のP.1でタモロコ、カワヨシノボリの2種を、P.2でカワムツ、オイカワの2種を、夏季のP.2でカワムツ、オイカワの2種を、秋季のP.2でカワムツ1種を捕獲した。

セルビンによる捕獲では、春季のP.1でタモロコ1種を、P.2でカワムツ、オイカワの2種を、夏季にはP.2でオイカワ1種を捕獲した。

タモ網による捕獲では、春季のP.1で、タモロコ、カワヨシノボリの2種を、P.2でカワムツ、タモロコ、カワヨシノボリ、オイカワの4種を、夏季のP.1でカワムツ、タモロコ、カワヨシノボリの3種を、P.2でカワムツ、カワヨシノボリ、オイカワの3種を、秋季のP.1でカワヨシノボリ1種を、P.2でカワムツ、カワヨシノボリ、オイカワの3種を、冬季のP.1でカワヨシノボリ1種を、P.2でカワムツ、カワヨシノボリ、オイカワの3種を確認した。

表9 - 2 魚類捕獲調査結果

調査方法	種 名	春季		夏季		秋季		冬季	
		調査地点		調査地点		調査地点		調査地点	
		P.1	P.2	P.1	P.2	P.1	P.2	P.1	P.2
カゴ網	カワムツ		5		10		12		
	オイカワ		19		1				
	タモロコ	1							
	カワヨシノボリ	1							
	種 数	1	2	0	2	0	1	0	0
	個体数	2	24	0	11	0	12	0	0
セルビン	カワムツ		6						
	オイカワ		37		23				
	タモロコ	3							
	種 数	1	2	0	1	0	0	0	0
	個体数	3	43	0	23	0	0	0	0
タモ網	カワムツ								
	タモロコ								
	カワヨシノボリ								
	オイカワ								
	種 数	2	4	3	3	1	3	1	3

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

2 - 2 目視観察調査結果

各季に実施した調査では、P.2でカワムツ1種がみられた程度であった。

P.1では各調査ともに魚影を確認することはできなかった。

第3項 まとめ

今回の調査では表9 - 3に示したとおり、2目2科4種の淡水魚類を確認した。確認は、P.1で3種を、P.2で4種を確認した。

なお、P.1については、目視観察においては魚影を確認しておらず、P.1付近での魚類の生息数は少ないものと思われる。

表9 - 3 魚類捕獲調査結果

目名	科名	種名	調査時季				調査地点	
			春季	夏季	秋季	冬季	P. 1	P. 2
コイ	コイ	オイカワ						
		カワムツ						
		タモロコ						
スズキ	ハゼ	カワヨシノボリ						
2目	2科	4種	種数	4	3	3	3	4

また、今回の調査結果を、表9 - 4に示した平成14年度の調査結果を比べてみると、地点別の確認種は、両地点とも平成14年度と同じであった。

季節別では、平成14年度は春季を除き4種（オイカワ、カワムツ、タモロコ、カワヨシノボリ）を確認したが、今回の調査では春季のみ4種を確認した。しかし、全体的に生息環境に大きな変化はないものと考えられる。

表9 - 4 魚類捕獲調査結果（平成14年度の調査）

目名	科名	種名	調査時季				調査地点	
			春季	夏季	秋季	冬季	P. 1	P. 2
コイ	コイ	オイカワ						
		カワムツ						
		タモロコ						
スズキ	ハゼ	カワヨシノボリ						
2目	2科	4種	種数	3	4	4	4	3